

# 第10回下関市景観賞 概要

## 1 趣旨

下関市の良好な景観の形成に向けて、「下関市景観条例」に基づき、市民への景観まちづくりに対する関心の醸成、活動者のさらなる意識高揚を図るため、「下関市景観賞」を実施。

## 2 募集対象

下関市内において、次のいずれかの要件を満たすもの

- ①良好な景観を形成している民間の建築物、工作物のうち、原則築造5年以内のもの
- ②良好な景観を形成しているまちなみ、自然環境等

## 3 募集方法及び応募件数

- (1) 募集期間：令和元年(2019年)7月1日(月)～8月13日(火)
- (2) 募集広報：市ホームページ、市報6月号、Facebook、ラジオ広報(カモンFM)
- (3) 応募件数：36件

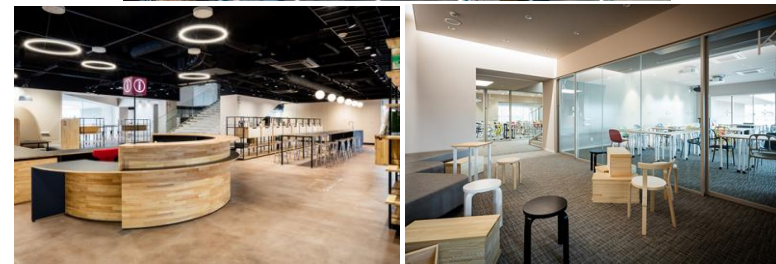
## 4 選考

- (1) 選考者：下関市景観審議会デザイン委員会委員(9名)
- (2) 選考対象：29件(応募件数のうち、対象外を除いたもの)
- (3) 選考方法
  - ①書面審査(8月26日(月)～9月19日(木))  
選考対象についてデザイン委員会委員による書面審査を実施。  
各部門で得票数が多かったもの(計4件)を現地審査対象として選定。
  - ②現地審査(10月4日(金)9:00～14:00)  
対象4件について、デザイン委員会委員のうち7名が現地審査。
  - ③最終審査(10月4日(金)14:15～15:00)  
現地審査を踏まえ、デザイン委員会委員のうち7名により、表彰物件3件を選出。

## 5 表彰

- (1) 日時：令和元年11月19日(火)10:00～
- (2) 場所：下関市役所本庁舎本館(仮庁舎)1階 市長応接室
- (3) 参加者：受賞関係者6名、デザイン委員会委員5名、前田市長以下下関市関係職員8名
- (4) 表彰部門
  - ・建築部門(新築)  
学術的・芸術的な価値がある物件、周囲の景観と調和している物件など
  - ・風景・まちなみ部門  
自然と調和した景観を保っている農山漁村の集落、周辺の景観と調和するように垣・門・花壇等を設けた区域など

## 受賞対象



### 【建築部門(新築)】

The Learning Station CROSSLIGHT(梅光学院大学北館)  
(下関市向洋町一丁目1番1号)

外観は、大きくせり出したバルコニーが強い印象を与えます。館内は、教室、廊下等の空間を完全に仕切ることなく、開放的、流動的な空間を産み出しています。多様な形態の教室、自由に配置できるさまざまな机や椅子類などフリーアドレスオフィスの様々な意欲的な試みが導入されています。

設計の計画段階から、学生、教員、職員等の参画もあって、活発な交流が実現されるよう考慮され、建築空間全体が学校活動に効果的に活用されていく雰囲気有している点が評価されました。

(受賞者：学校法人梅光学院)



### 【風景・まちなみ部門】

吉見古宿町から見た賀茂島  
(下関市吉見古宿町)

一見したところ3つの島が並んでいるように見えますが、1つの島です。特に夕日に映える風景が美しく、古くから地域住民に親しまれています。3つの岩山に自生する松は、最近では急速に松枯れが進んでいますが、地域住民が植樹等の保全活動に取り組んでいます。

3連の島の風景が愛され、地域住民によって大切に守られている点が評価されました。

(受賞者：賀茂島の景観を守る会)



### 【風景・まちなみ部門】

小串漁港、小島神社  
(下関市豊浦町大字小串)

岩山の上に建つ神社は、現在、周囲が埋め立てられて、入江状の漁港の一部を形づくっていますが、江戸時代には海に面していました。神社の敷地では夏祭りが行われるなど、地域住民に親しまれ、大事にされています。

岩山の上に趣のある神社が建つ景観は、昔の海岸を想起させ、迫力すら感じさせる点が評価されました。

(受賞者：小串地区自治会連合会)